

チャレンジ

大仙市立太田北小学校
学校報

2022. 1. 14

<No.16>

文責（校長：沢村）

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

2022年寅年がスタートして、2週間が過ぎました。後期後半初日の朝は、子どもたちのいつもと変わらない元気いっぱいのあいさつに、私も負けずに全力で応えることができました。冬休みを迎える会の中で、「時計（時間を）を意識した生活」を子どもたちと約束しましたが、いかがだったでしょうか。2月のPTAの際には、卒業と進級に向けた大切なポイントとして、ぜひ、お家の皆さんとも様子を共有したいと思っております。

さて、12月24日発行の「ほけんだより冬休み号」の一つのコーナーに目が留まりました。『1年の計は元旦にあり！』です。ほけんだよりに記載のとおり、1年の計画は元旦に立てるのがよい（月初めの日やその日の早朝も同じように）という意味で、由来は、戦国武将のひとり毛利元就とも言われ、毛利元就は「計画を立てるだけでは意味がない。計画を実行していきなさい。」と続けています。心引かれるテレビ番組の多い正月でした。日課表のないチャイムの鳴らない休みでした。皆さんの1年の計やいかに!?

令和3年度の登校日は残り45日ほどです。「まとめ・仕上げ・次への準備期間」となる後期後半、学校では、「個と集団」のバランスを大事にした声かけに徹しますが、引き続き各ご家庭でのご支援をよろしくお願いいたします。

スキー学習が始まります



いよいよスキー学習が始まります。会場となる大台スキー場は、この年末年始の降雪で十分な積雪量です。もちろん低学年が足慣らしとして使用する「国見の丘」も受け入れ体制万全です。大台山を背に、そしてグラウンドのあかまつを眼下に、子どもたちの寒さに負けない元気いっぱいの笑顔があふれることを楽しみにしています。指導者やサポート役としてお手伝いいただく保護者の皆様には、大変にご難儀おかけしますが、どうかよろしくお願いいたします。ぜひ、子どもさんとは付かず離れずのスタンスで、自然の中で、またひとつ成長する様子を見守っていただけたらと思います。



【お知らせとお願い】

警察署の方と冬の交通事故について、運転手側と歩行者側の両方の視点でお話する機会がありました。運転手側のポイントは、なんとと言っても道路が滑りやすくなるだけでなく、道路脇に寄せられた雪で道幅が狭い上に、「積雪で周囲の状況が見えにくい」ということのようなのです。また、歩行者側のポイントは、雪が音を吸収して車が近づく音が聞こえにくいということでした。もちろんポケットの手はアウトです。（まだまだ何人か見受けられます）いざというときの素早い動きの妨げになるばかりでなく、転んだときのケガにもつながります。子どもも大人も、日頃から両者の視点を強く意識することが事故防止の近道のようなのです。

紙風船作りが始まります

2月5日（土）の「太田の火まつり」に向けて、本校でも紙風船作りが始まります。全校で一基を創り上げ、1月25日の試し揚げを目指します。およそ40もの紙風船の中の一つとして、本校の紙風船が幻想的に宙を舞うのが、今から楽しみです。制作にあたってのご指導を、太田地域学校協働本部推進員の方に今年もお願いしています。貼り合わせには、丁寧な作業はもちろん、「技」も必要そうですね。4面の内、3面を各学年の子どもたちが、残り1面を先生方が担当します。今年はどんな文字やイラストが登場するのでしょうか。どうぞお楽しみに！



【昨年の様子】残念ながら火祭りは中止でした。